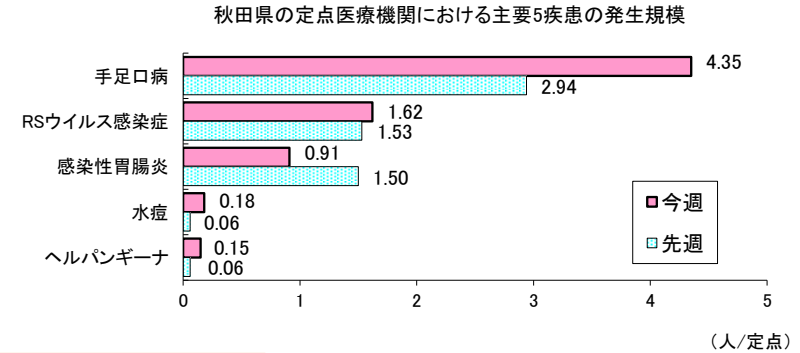




【第30週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 手足口病は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、大館で同規模となっています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、横手で増加、秋田中央、由利本荘で同規模、大仙で減少しています。
3. 感染性胃腸炎は、県全体で38%減少しています。保健所別では、大館、湯沢で増加、横手で同規模、秋田市、能代、秋田中央、大仙で減少しています。



発生報告

次回(第31週)の週報は、2022年8月12日(金)に公表します。

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減	第29週	第30週	増減			
RSウイルス感染症	1.53	1.62	↗	5.43	5.86	↗							0.50	0.50		0.75	0.75		1.50	1.25	↘	1.00	1.33	↗						
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.09	0.03	↘	0.29		↘	0.25	0.25																						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.09	↘				1.75	0.75	↘	1.00		↘							0.50		↘	0.25		↘						
感染性胃腸炎	1.50	0.91	↘	1.86	0.14	↘		0.50	↗				5.00	4.00	↘	1.25	1.00	↘				1.25		↘	0.33	0.33		4.00	3.67	↘
水痘	0.06	0.18	↗	0.14	0.14			0.75	↗							0.25	0.25			0.25	↗									
手足口病	2.94	4.35	↗	9.14	11.29	↗	1.00	1.00						2.00	↗		0.25	↗	6.50	7.25	↗	0.25	0.50	↗		0.67	↗	1.67	8.33	↗
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.18	0.12	↘	0.29	0.14	↘					1.00	↗																		
ヘルパンギーナ	0.06	0.15	↗	0.14	0.43	↗																						0.33	0.67	↗
流行性耳下腺炎	0.03		↘	0.14		↘																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗													*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-29週		30週	
		全国	秋田	秋田	
一類	エボラ出血熱				
	クリミア・コンゴ出血熱				
	痘そう				
	南米出血熱				
	ペスト				
	マールブルグ病				
	ラッサ熱				
二類	急性灰白髄炎				
	結核	8096	36	1	
	ジフテリア				
	重症急性呼吸器症候群				
	中東呼吸器症候群				
	鳥インフルエンザ(H5N1)				
	鳥インフルエンザ(H7N9)				
	三類	コレラ	1		
		細菌性赤痢	13		
		腸管出血性大腸菌感染症	1275	21	
腸チフス		10			
パラチフス		5			
四類	E型肝炎	245			
	ウエストナイル熱				
	A型肝炎	46			
	エキノコックス症	16			
	黄熱				
	オウム病	5			
	オムスク出血熱				
	回帰熱	7			
	キャサナル森林病				
	Q熱				
	狂犬病				
	コクシジオイデス症				
	サル痘				
	ジカウイルス感染症				
	重症熱性血小板減少症候群	75			
	腎症候性出血熱				
	西部ウマ脳炎				
	ダニ媒介脳炎				
	炭疽				
	チクングニア熱	4			
	つづが虫病	95	7		
	デング熱	20			
	東部ウマ脳炎				
鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)					
ニパウイルス感染症					

類型	疾患名	1週-29週		30週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	157		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺炎候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	11		
	野兔病			
	ライム病	3		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽	1		
	レジオネラ症	998	8	
レプトスピラ症	3			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	285	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	115		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	905	7	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	13		
	急性脳炎	164	1	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	96		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	415	1	
	後天性免疫不全症候群	495		
	ジアルジア症	20		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	98	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	4		
	侵襲性肺炎球菌感染症	693	5	
	水痘(入院例に限る)	183	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	6385	19	2
	播種性クリプトコックス症	82		
	破傷風	48		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	85		
百日咳	284	3		
風しん	4			
麻しん	2			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			
* 新型コロナウイルス感染症	37374	6455		

* 新型インフルエンザ等感染症

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から2680人、大館保健所管内から1284人、北秋田保健所管内から167人、能代保健所管内から296人、秋田中央保健所管内から396人、由利本荘保健所管内から533人、大仙保健所管内から730人、横手保健所管内から253人、湯沢保健所管内から116人、報告されました。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症1件、手足口病*3件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
RSウイルス感染症	横手市	認定こども園こひつじ	7/26	77名のうち13名	29名のうち0名	13名	7/19～7/25	発熱
手足口病	由利本荘市	内越保育園	7/25	138名のうち10名	37名のうち0名	10名	7/19～7/25	発熱、発疹
	秋田市	ごしょの保育園	7/27	159名のうち19名	50名のうち0名	19名	7/25～7/27	発熱、発疹、下痢
	秋田市	認定こども園ふじ	7/28	120名のうち14名	33名のうち0名	14名	7/26～7/28	発熱、発疹

*手足口病について

7月以降、手足口病の患者報告数が増加しています。特に、秋田市保健所、由利本荘保健所、湯沢保健所管内では警報が出ており、保育園等で集団発生しています。過去2年間大きな流行もなかったため、今後、さらに患者数が増加する可能性があります(図)。流行状況に注意し、感染予防に努めましょう。

■症状

口の中や手足などに水疱性の発疹が現れるのが特徴で、発熱を伴う場合もあります。口の中の痛みによって、飲食が困難になることもありますので、脱水等を起こさないようこまめな水分補給を心がけましょう。多くは1週間程度で回復しますが、まれに無菌性髄膜炎等を併発する場合もあるため、注意が必要です。

■予防

接触感染への対策が重要です。特に、保育園等の集団発生の起こりやすい施設では、流水と石けん等でしっかりと手洗いしましょう。

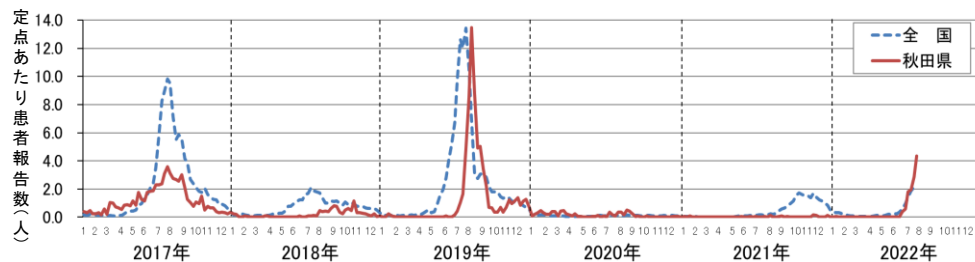


図 手足口病の定数あたり患者報告数の推移



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	秋田市(11.29)、由利本荘(7.25)、湯沢(8.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		